

第14期

オンライン読書会

『論語と算盤』



渋沢栄一
(渋沢史料館所蔵)

締切 2025年8月25日(月)

講師 守屋 淳 (作家)

形式

オンライン (オンライン会議アプリ Zoom 使用)
※最終回の講義は会場とオンラインのハイブリッドで実施

実施日

2025年 9月13日、10月11日、11月8日、12月13日
2026年 1月10日、2月14日、3月14日、4月11日、5月9日、6月13日、7月11日
(※7/11は講義を実施)

時間

10:30～12:30

参加費

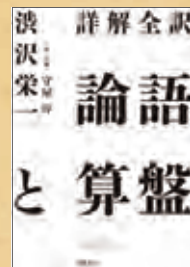
3,000円 (全11回分、テキスト代含む)

定員

30名 (申し込み多数の場合は選考を行います)

テキスト

『詳解全訳 論語と算盤』(渋沢栄一著、守屋淳訳注、筑摩書房)
テキストとして配布いたしますので、ご購入いただく必要はございません。



お申し込み

渋沢栄一記念財団
ウェブサイト
よりお申込みください

トップページ

研究センター

企画・セミナー等情報

『論語と算盤』読書会

<https://www.shibusawa.or.jp>



公益財団法人 渋沢栄一記念財団

お問合せ先

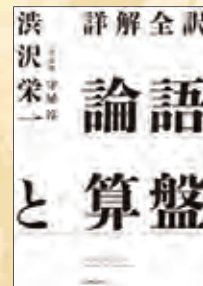
渋沢栄一記念財団研究センター
event0012@shibusawa.or.jp

〒114-0024 東京都北区西ヶ原 2-16-1 (飛鳥山公園内)



2024年6月に刊行された『詳解全訳 論語と算盤』（渋沢栄一著、守屋淳訳注、筑摩書房）をテキストに全10章の内容を毎月1章ずつ読み進めディスカッションを行います。終了時には、参加者一人一人がアドバイザーとなって『論語と算盤』の読書会を開けるよう、仕事や経営、教育、研究、生涯学習、地域活動など様々な場面で活かしていくことが目標です。

渋沢栄一や『論語と算盤』に関心がある方、また幅広い世代の方とのディスカッションを通じ知見を広げたい方にもおすすめです。



守屋 淳（作家）

1965年東京生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。大手書店勤務を経て、現在は中国古典、主に『孫子』『論語』『老子』『莊子』『韓非子』などの知恵を現代にどのように活かすかをテーマとした、執筆や企業での研修・講演を行う。『現代語訳 渋沢栄一自伝』（平凡社新書）、『現代語訳 論語と算盤』（ちくま新書）、『渋沢栄一「論語と算盤」の思想入門』（NHK 出版新書）『ビジネス教養としての「論語」入門』（日本経済新聞出版社）など。

ホームページ <https://chinese classics.jp/>



注意事項

- ・ディスカッションを円滑に進めるため、全ての回に参加できる方を対象としています。
- ・欠席された場合でも参加費の返金はいたしませんのでご注意ください。
- ・連絡先や名刺交換は自由におこなっていただいて構いませんが、その後の交流については参加者ご自身の管理、責任においてご判断をお願いいたします。
- ・誹謗中傷や迷惑行為（金銭取引、ネットワークビジネスの勧誘等を含む）に該当すると判断した場合、本読書会からご退会していただきます。

過去の読書会参加者のコメント

第10期

毎回楽しみにして参加し、世代やジェンダーを超えた様々なご意見を伺うことが叶い、実りの多い有益なものとなりました。

第11期

仕事する上で大切にすべき価値観を再認識することができました。また、普段道徳的な考え方についてディスカッションする機会がないため、自分の考えや想いを言語化して説明するための場にもなりました。

第12期

リモートでの業務が増え、人との交流が少なくなっている中で、同じ興味を持った仲間と議論することができました。とても充実した時間を過ごすことができました。

生きる上で参考になることが多い。渋沢栄一の考え方、守屋先生のコメント、そして参加者の発言にもハッとさせられたり、なるほどと頷くこともある。参加すると充実感がある。

読書会は初めての参加でしたが、一冊の本を通してほかの方の経験も含めて楽しい会となりました。一人で「論語と算盤」を読んだときに見えないものが、見えるきっかけができました。

オンラインでの読書会は日本全国から参加しているので、いろいろな経験されている方が多い。現役が多いので、高齢者として刺激を受けた。このような読書会に参加したので、論語と算盤を再度読むことが出来、また意見交換が出来たことがよかった。